

1月25日 (水) のミニセミナー発表予定

時間	区分	発表内容
11:00~11:10	展示物No. 12, 17	「開発接着剤を用いて作成したハットビーム接着接合試験片」他 佐藤 千明 (国立大学法人 東京工業大学)
11:30~11:40	テーマ番号 64	「マルチマテリアル接合技術の基盤研究」 大畑 充 (国立大学法人 大阪大学)
13:00~13:10	展示物No. 1-3, 4	「革新アルミニウム合金を用いたフロントサイドメンバーおよびサイドシルインナー」他 箕田 正 (株式会社 UACJ)
13:30~13:40	展示物No. 14	「トポロジー最適化によるマルチマテリアル軽量化車体構造のVR展示」 西脇 眞二 (国立大学法人 京都大学)
14:00~14:10	展示物No. 5	「リサイクル炭素繊維を使用したLFT-D大型・薄肉構造リアパネル」 木本 幸胤 (国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学)
14:30~14:40	展示物No. 9	「トポロジー最適化+マルチマテリアル3D積層造形による実寸サスタワー」 堀谷 貴雄 (新構造材料技術研究組合)
15:00~15:10	展示物No. 6b	「適応制御組み込みロボットFSW装置で接合した1.5GPa級超ハイテン製Bピラースケールダウン接合部材」 保田 雄亮 (株式会社 日立製作所)
15:30~15:40	展示物No. 13	「新材料の材料代替効果定量技術およびその評価ツール (LCA)」 田原 聖隆 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所)
16:00~16:10	テーマ番号27-2	「熱可塑性CFRPの開発及び構造設計・応用加工技術の開発」のうち炭素繊維リサイクル 和田 匡史 (一般財団法人 ファインセラミックセンター)

1月26日(木)のミニセミナー発表予定

時間	区分	発表内容
11:00~11:10	展示物No. 1-2, 3	「革新材料と異材接合技術を織り込んだマルチマテリアルドア」他 深堀 貢 (マツダ株式会社)
11:30~11:40	展示物No. 6a	「高速両面FSWによる超ハイテンテーラード・ブランク製Bピラー」 松下 宗生 (JFEスチール株式会社)
13:00~13:10	テーマ番号 60	「マグネシウム材の性能・寿命に関するマテリアルズ・インテグレーション (MI) 活用技術の開発」 榎 学 (国立大学法人 東京大学)
13:30~13:40	展示物No. 1-1, 2	「革新鋼板を用いたAピラー4部品ASSY」他 田口 裕樹 (株式会社 神戸製鋼所)
14:00~14:10	テーマ番号 65	「マルチマテリアル車体における防食表面処理評価技術の開発」 小崎 匠 (日本パーカラライジング株式会社)
14:30~14:40	展示物No. 1-6, 7, 8	「開発Mg合金による1/1スケールのフロントフード」他 千野 靖正 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所)
15:00~15:10	テーマ番号 23	「軽元素を有効に用いた革新鋼材の耐食性および成形性向上技術の開発」 河野 佳織 (日本製鉄株式会社)
15:30~15:40	テーマ番号 52	「中性子等量子ビームを用いた構造材料等解析技術の開発」 大島 永康 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所)
16:00~16:10	テーマ番号 35	「革新的マグネシウム材の鉄道車両および自動車構造部材への適用技術開発」 (鉄道車両への適用) 千野 靖正 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所)

1月27日（金）のミニセミナー発表予定

時間	区分	発表内容
11:00~11:10	展示物No. 10	「Bピラーを想定した鋼CFRP複合接着部材」 兵間 賢吾（株式会社 IHI）
11:30~11:40	展示物No. 9	「トポロジー最適化+マルチマテリアル3D積層造形による実寸サスタワー」 山下 秀（新構造材料技術研究組合）
13:00~13:10	テーマ番号 27B	「リサイクル炭素繊維の評価技術開発」 今井 祐介（国立研究開発法人 産業技術総合研究所）
13:30~13:40	展示物No. 1-5	「超軽量CFRTP/CFRPハイブリッド部材を適用した自動車ルーフモデル」 中山 義文（東レ株式会社）
14:00~14:10	展示物No. 1-4	「LFT-DとCFRTPフレークシート補強材のハイブリッド成形によるフロアパネル」 市来 誠（国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学）
14:30~14:40	テーマ番号 14	「アルミニウム材新製造プロセス技術開発」 布村 順司（株式会社 UACJ）
15:00~15:10	展示物No. 11	「中高炭素鋼、マルチマテリアルに適用できる革新的な固相摩擦接合により作製した接合継手」 三浦 拓也（国立大学法人 大阪大学 接合科学研究所）